

管理番号	2025-022
------	----------

研究内容の説明文

説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	日本国内のヒト T 細胞性白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 陽性者の動向調査 (国内 HTLV-1 水平感染者の疫学調査の実施と最新の推移予測)
研究期間	2025 年 6 月～2026 年 3 月
研究機関名	日本赤十字社九州ブロック血液センター 品質部
研究責任者職氏名	シニアスタッフ 相良 康子

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明	
1	研究の目的・意義・予測される研究の成果等 日本赤十字社では輸血用血液の感染症検査として、ヒト T 細胞性白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) に対する抗体検査を実施しています。 HTLV-1 はいくつかの難治性関連疾患を発症することが知られているレトロウイルスですが、これまで 2 回の調査を実施したところ、第 1 次調査 (2005-2011 年) よりも第 2 次調査 (2013-2020 年) において、青年期以降の新規感染者が大都市圏で増加傾向にあり、特に 16-34 歳の若年層での感染拡大がわかりました。そこで、期間を延長したその後の追跡調査を実施して最新の新規感染の発生動向を調査し、総 HTLV-1 感染者数の推移について把握することを目的としております。これにより HTLV-1 の感染予防対策の充実や検査体制の拡充を行い、予防可能な感染症となっていくことが期待されます。
2	使用する献血者の試料と情報の項目 献血者の試料の種類：なし 献血者の情報：2013 年から 2024 年の間に献血された方の採血日、性別、生年、採血地、HTLV-1 抗体検査結果
3	共同研究機関及びその研究責任者氏名 《献血血液等を使用する共同研究機関》 該当なし 《献血血液等を使用しない共同研究機関》 長崎大学 教授 三浦 清徳
4	献血血液等を利用又は提供を開始する予定日 2025 年 8 月 1 日
5	方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》 献血血液等のヒト遺伝子解析： ☒ 行いません。 ☐ 行います。 《研究方法》 解析に用いる検査結果は、個人が特定されない形で取り扱います。 2013-2024 年の間に複数回献血された方の HTLV-1 抗体検査結果を抽出し検査結果が陰性から陽性に転じた事例を収集し、献血期間、男女別年齢階層別採血地別解析を実

施します。

その際に母集団として HTLV-1 検査陰性持続献血者についても同様に献血期間、性別、年齢階層別、採血地別の該当数情報を取得して検査結果が陰性から陽性に転じた献血者の情報と比較します。

また、初回献血者数と HTLV-1 抗体検査陽性者数の男女別年齢階層別居住地別データについて人口動態統計を元に統計疫学的手法により全国の総 HTLV-1 キャリア数の推定を行って、2023 年報告の HTLV-1 感染者数動向予測と比較します。

6 研究の対象とされることへの拒否について

本研究で使用される情報に関して使用の差し止めを希望される方は、下記の担当者までご連絡くださることで、個人に紐づく情報の使用の差し止めをすることが可能です。ただし、すでに個人が特定されない状態になっている情報については除外できない場合があります。

7 上記 6 を受け付ける方法

下記の問い合わせ先にご連絡ください。

所属	日本赤十字社九州ブロック血液センター 品質部
担当者	相良 康子
電話	092-921-1403
Mail	hinshitsu-chikushino@qc.bbc.jrc.or.jp